



横浜市立富岡小学校

学校だより 10月号



「暑さ寒さは、彼岸まで」という言葉にある通り、朝夕の風は少しずつ秋の装いを感じる今日この頃です。10月は1年の折り返し点。前期を振り返るとともに、次の学年につながる後期にしたいと考えています。

平成32年度新教育課程の完全実施に向けて

横浜市では「**社会に開かれた*教育課程**」の実現を目指しています。「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を**学校と社会が共有し連携、協働しながら**新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育むような教育課程を実現しようと進めています。

本校でも、平成30、31年度の2年計画で学校教育、授業時数、「あゆみ」、各教科等の年間指導計画等の見直しに着手しています。今回の教育課程の改訂のポイントは、「社会に開かれた」という言葉です。今、世の中はコンピュータ、ネット環境の充実で加速度的に変化を続けています。学校で指導する内容も常に新しい世の中の情報とつながっていなければ古いものになってしまいます。教科書だけでは、もはやよりよい教育は難しい時代になっています。**社会の生きた教材「人、もの、こと」を教材**に加えつつ授業構成、授業計画を立てていかなければ



なりません。**学校運営協議会**もこうした理念を実現するための**学校と地域がつながる組織**です。また、これまでの**学校地域協働活動の充実**が子どもの学びを支えてくれています。



9月11日(火)には、学校職員と学校地域協働本部の委員と「**地域とともに歩む学校教育**」から「**地域とともに創る学校教育**」というテーマで話し合いを持ちました。「**支援から協働へ**」子どもを中心において学校と家庭と地域が知恵を出し合いよりよい学校教育を目指してまいります。これを基盤に横浜の教育が目指す人づくり「自ら学び 社会とつながりともに未来を創る人」を育ててまいります。出前授業や校外学習のねらいを明らかにし、教科書や学校から飛び出して**専門家の話や本物に触れる生きた学びの場**を指導計画に位置付けていこうと考えています。こうした学びは**教科枠を超えた横断的な学び**を生み出し、よりダイナミック

に**主体的・対話的な学び**に向かうものと考えています。また、教師自身も新鮮な社会の生きた教材から学ぶチャンスでもあります。校外学習では、お弁当作り、早めの登校をお願いすることがございます。ご理解とご協力をお願いいたします。

*教育課程…学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容や児童の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した各学校の教育計画等（「小学校学習指導要領総則編」文部科学省 平成29年 より）

特別教室エアコン設置工事

今年の夏は「熱中症予防」という言葉が毎日のように出てくるほどの記録的な猛暑となりました。横浜市では、今、特別教室のエアコン設置を進めています。本校では、8月より来年度の稼働を目指して工事を行っています。第二校舎1階家庭科室、2階理科室。第三校舎1階図工室、2階図書室が対象です。夏休み中に教室内の工事を終えて、室外機等校舎外の工事にはいっています。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

(校長 菅沼 伸一)